

抽象と具象で考える創作論



20240128



エリー



目次

| | |
|--------|---|
| 本文 | 1 |
| 参考にした本 | 4 |

本文

抽象と具象で考える創作論 20240128

小説のテーマを「恋愛」に設定した場合、抽象度が高過ぎて、範囲が特定されない。

たとえば「3才男児が通う公園で、名前も知らない年上の少女に、ほのかな恋心を感じた話」とする。

セントラルクエスチョンを「男児は少女に気持ちを伝えられるか？」にしたとしよう。

重要なのは、男児の性格だ。

A、内気でもじもじしている。

B、強気がかっこいいといわれたい。

AとBでは、全然違うエピソードになる。

つまり「小論文なら主張する根拠の数」で、「小説はテーマに沿ったキャラクター展開」という形になる。

もし「恋愛」という大きな要素に、「政治」や「宗教」を加えたら、どんどん長くなる。触れるべきことが増えるからだ。

テーマが具体的なら、下に含まれる事象は狭まる。

テーマが概念的なら、下に含まれる中間要素が増える。必然的に具体的なエピソードも増える。

わたしの場合は、「自分にとって楽園とはなにか？」をテーマに書いてきた。

必然的に社会的な問題になる。

「政治」「経済」「宗教」が含まれる。

テーマが抽象的過ぎて、収集がつかなくなっていた。

第一に理解不能な分野が多い。

第二に自分より賢い人を描かなければならない。

分からないことは書けない。

具体的にイメージできないことは書けない。

そこでテーマを「集中することができない女の子が、集中力を持つことを、見守ってもらえる関係の村」が「わたしにとっての楽園」と具体化した。

自分が集中力がなくて、苦労した経験がある。

具体例を思いつける。

テーマは骨格だ。

ストーリーラインになる。

構成には型がある。

オリジナリティを出しにくい。

登場人物とのエピソードは肉付けだ。

「集中力」でキャラクターのバリエーションを展開して、主人公と関わる場面を見せていく。

具体的なエピソードは、オリジナリティが出る部分。

キャラクターには、作者の経験が反映される。

よくある失敗は、概念を増やし続けて、収集がつかなくなることだ。

テーマを絞り、関係ないことは書かない。

反対が、キャラクターやエピソードの具体化にオリジナリティがなくて、ステレオタイプを描いてしまうことだ。

AさんとBさんが関わったらどうなるか？

Cさんも参加したら？

という人間関係を楽しむのが、小説の醍醐味。

だからファンブックは、人物紹介が中心になる。

出来事について書きたいなら、ビジネス書のようなハウツーがよい。

人間について書きたいなら、物語がよい。

人間関係のハウツーは、小説仕立てのビジネス書がよい。

小説の読者は人間が見たいから、設定を長々と説明されるとそっぽを向く。

架空の人間は OK だが、架空の設定は NG だ。

ただし、人間を描くために必要な設定なら受け入れる。

「なぜ必要か？」の見極めが、テーマに沿うということだ。

参考にした本

●具体と抽象の本の紹介

「具体と抽象 世界がかわって見える 知性のしくみ」(細谷功、dZEZO、€1800E、2014/12/7 第1刷、2018/8/10 第9刷)

「具体⇄抽象 トレーニング思考力が飛躍的にアップする 29 問」(細谷功、PHP ビジネス新書、€1030E、2020/3/31 第1版第1刷、2023/11/9 第1版第22刷)

「仕事ができる 具体と抽象が、ビジネスを 10 割解決する。」(谷川祐基、CCC メディアハウス、€1450E、2023/10/5 初版)

●やりとりの本

「世界で一番やさしい会議の教科書」(榊巻亮、日経 BP Next ICT 選書、€1600E、2015/12/15 初版、2018/12/5 第6刷)

「世界で一番やさしい会議の教科書 実践編」(榊巻亮、日経 BP 社、€2200E、2018/5/1 初版)

「世界で一番やさしい資料作りの教科書」(榊巻亮、日経 BP 社、€1600E、2019/12/9 初版、2020/8/25 初版2刷)

「世界で一番やさしい考え方の教科書」(榊巻亮、日経 BP 社、€1600E、2023/4/17 初版)

「仕事を教えることになったら読む本」(濱田秀彦、アルク、€1500E、2021/4/20 初版、2023/12/4 第7刷)

●ビジネス

「リーダーの仮面 —— 「いちプレーヤー」から「マネジャー」に頭を切り替える思考法」
(安藤広大、ダイヤモンド社、€1500E、2020/11/24 第1刷、2023/8/25 第21刷)

「数値化の鬼 —— 「仕事ができる人」に共通する、たった1つの思考法」(安藤広大、ダイヤモンド社、€1500E、2022/3/1 第1刷、2023/8/25 第11刷)

「とにかく仕組み化 —— 人の上に立ち続けるための思考法」(安藤広大、ダイヤモンド社、€1600E、2023/5/30 第1刷、2023/7/5 第4刷)

抽象と具象で考える創作論20240128

著 ELYE

制作 Puboo
発行所 デザインエッグ株式会社
